

受付番号	9	受付月日	8月17日 午前10時10分
------	---	------	-------------------

東郷町議会議員

水川 淳 殿

東郷町議会議員

会派名

新東会

議席番号

8番氏名

加藤 達雄

Ⓔ

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問（一問一答方式・一括質問方式）したいので通告します。

記

No. 3 - 1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 気候変動で豪雨災害が頻発するなかで、本町の治水について	<p>(1) 県は今年の4月水防法に基づき、境川水系を「洪水予報河川」の対象として豊明市以南の下流5市1町を「洪水浸水想定区域」と指定・公表した、これは「想定最大規模の降雨」により外水氾濫が起き30cm～10mの浸水区域が発生すると想定図示化して、防災・減災に活用するものである。</p> <p>ア 上流の本町は区域対象外であるが、雨量、内水、境川の状況により、氾濫が起きる可能性は有ると解釈するが見解を問う。</p> <p>イ 現在本町には豪雨時に、境川流域に沿って一部区域で30cm～1mの浸水が発生するとして「浸水予想図」と「都市浸水想定区域図」の二つがあるがこの違いは何か、そして洪水ハザードマップはこれらをどの様に反映されているのか伺う。</p> <p>ウ 前川、春木川流域の大規模開発は、雨水貯留浸透施設の設置が義務付けられているが前提となる基準降雨の「年超過確率」は1/3～1/10と緩めの設定、今後20～30mm/Hrの「強い雨」では、当該地域の内水の実地確認は当面必要と思うが備えは有るか。</p> <p>エ 境川の堤外地に繁茂する高木による流下支障は、越水の一因ともなる、環境との兼ね合いも重要であるが、支障があれば伐採が必要である、全国各地でも同様な問題があり改善事例を聞く、本町の見解を問う。</p> <p>オ 境川の水位情報は、現在は某社のサービス映像で確認していると聞くが、危機管理上自前のモニター整備の必要があると思うが検討されているか。</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
<p>2 本町のコロナ感染症状況が次の段階に入り庁舎の感染防止策の見直しについて</p>	<p>カ 町内の低地に位置する四ッ塚地区の、雨水排除施設は稼働されていない状態である。その理由は何か、<u>50 mm/Hr</u>ものゲリラ豪雨の頻度が増す中、再整備の必要があると思うがどうか。</p> <p>(1) 本町内におけるコロナ感染症の状況は新局面に入り役場の業務継続、BCP 対策に準じ対応していかねばならない。</p> <p>ア 来庁者の検温体制の徹底は来庁者並びに職員にとっても安心材料である、玄関にサーモグラフィカメラの設置は考えられないか。また、その課題は。</p> <p>イ 事務室の狭い少人数部門の3密回避策は先ず換気の徹底であるが、レイアウトの変更、時差勤務、テレワーク等分散業務の検討も万全を期す必要がある。効率を考えると簡単にはいかないが、業務継続の重要性から、テレワーク等種々試行されたと思うが課題を問う。</p> <p>ウ 1Fの窓口業務部門の飛沫対策ビニールシートは一早く設置され、その効果は実証済である。しかし透明度が落ちて来庁者に見えづらさでご迷惑をかけている、現感染状況をみると、アクリル製に更新する時期と思うがどうか。</p> <p>エ コロナ感染症の収束の兆しはなく役場として長期戦も視野に入れた対策が必要となってきた、第6次東郷町総合計画を含め、先手のコロナ感染症対策事業の検討はされているか伺う。</p>	<p>町長 担当部長</p>
<p>3 長期休業中の小中学校は、感染予防対策の「新しい生活様式」を実践することで再開された、その後の状況について</p>	<p>(1) 春先からコロナ禍で長期休業に入っていた学校は、5/21から児童・生徒の感染症対策を講じ、段階的な試行を積み重ねながら教育活動は再開された。</p> <p>ア 学校再開の前提条件である感染症対策の定着化を評価したい。先生達は学齢に応じてそれぞれの事柄について、根気よく理解させ実践を積み重ねた成果である。同時にその効果、課題について検証はされているか伺う。</p>	<p>教育長 担当部長</p>

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
	<p>イ コロナ禍の長期休校は、程度の差こそあれ子供たちの心身に影響があったと思うがどうか。そこで再開後に心身の不安を来したとか、不登校はなかったか伺う。</p> <p>ウ 「異例づくめの夏休み」を、子どもたちにどう過ごしてもらおうとしたのか、学校単位に任じたのか、教育委員会から要請をされたのか伺う。</p> <p>エ 今年は、8月の第1週まで学校があり連日35℃に迫る猛暑日に熱中症が心配されたがどうであったか。また2学期の始まり頃は更に用心が要るが、コロナ感染予防と合わせ健康管理面で一層の注意が要るが課題はないか。</p> <p>(2) 学びの保障について</p> <p>ア 長期休業中の学習遅れの挽回は、短縮夏休み等で今年度中に完了できる計画なのか、また他にはどのような挽回策があるのか伺う。</p> <p>イ コロナ禍で分散授業に対応するための支援教員、学習指導員、スクールサポーター等の要求は有るのか、それに対して配置は整っているか。</p> <p>ウ 学校・家庭のWI-FI環境整備事業で最優先すべきは、未整備家庭の端末を含む整備であるが関係者に共有されているか、少しでも早い整備が進んでいるか。</p>	

(注) 要旨は、具体的に記載すること。